

外来医療計画の策定について

令和元年7月8日
医務薬事課

1 目的

- ・平成30年7月の「医療法及び医師法」の一部改正により、各都道府県は、医療計画中に「外来医療提供体制の確保に関する事項」（以下「外来医療計画」という。）を策定する（今年度末まで）。
- ・計画の趣旨は、診療所の開設が都市部に集中している、診療所における診療科の専門分化が進んでいる、医療機関間の連携が個々の医療機関の自主的な取組に委ねられている等の状況を踏まえ、外来医療機能に関する情報の可視化、新規開業希望者等に対する情報提供、外来医療機能に関する協議及び協議を踏まえた取組等により、新規開業者の行動変容を促し、偏在是正につなげていくものである。

2 概要

- ・都道府県において二次医療圏毎に外来医師偏在指標により診療所の医師の多寡を可視化し、この指標に基づき、二次医療圏毎に「外来医師多数区域」を設定する（全国335医療圏のうち、上位33.3%）。
- ・二次医療圏毎に、地域で不足している外来医療機能について協議を行い、その結果を公表する。
- ・少なくとも外来医師多数区域で新規開業する場合、「地域で不足している外来医療機能」を担うことを求める。
- ・医療機関のマッピングに関する情報等、開業に当たって参考となる情報について、把握・整理・分析し、明示する。

3 策定内容

<計画に記載する内容>

○外来医療提供体制の確保

- ①外来医師偏在指標の定めと、二次医療圏毎に外来医師多数区域の設定
- ②地域で不足している外来医療機能の分析と課題の協議等
- ③外来医師多数区域において、新規開業者に対して不足している医療機能を求める協議のプロセスと、結果の公表方法
- ④医療機関のマッピング情報や外来医療提供の状況など、開業等に当たって参考となる情報

○医療機器(※1)の効率的な活用

- ①医療機器の配置状況に関する情報(医療機器の配置状況に関する指標)
- ②医療機器の保有状況等に関する情報
- ③医療圏毎の共同利用の方針
- ④共同利用計画(※2)の記載事項とチェックのためのプロセス

※1(対象機器)

CT、MRI、PET、リニアック及びガンマナイフ、マンモグラフィ

※2(共同利用計画)

外来医療を行っている病院・診療所が新たに医療機器を購入する時、医療機関毎に策定(共同利用の相手方となる医療機関・対象機器、保守・整備等の方針、画像情報及び画像診断情報の提供に関する方針など)

外来医師偏在指標(暫定値)の結果、本県では「外来医師多数区域」が無い見込みとなっている。

こうした場合においても、ガイドライン上、最低限の事項を計画に盛り込む必要があることから、協議の場(地域医療構想調整会議等)を活用し、外来医療の現状・課題の共有や意見聴取などを行う。

<計画に記載する内容>

○外来医療提供体制の確保

- ①外来医師偏在指標の定め
- ②地域で不足している外来医療機能の分析と課題の協議等
- ③医療機関のマッピングに関する情報など、開業等に当たって参考となる情報

○医療機器の効率的な活用

- ①医療機器の配置状況に関する情報(医療機器の配置状況に関する指標)
- ②医療機器の保有状況等に関する情報
- ③医療圏毎の共同利用の方針
- ④共同利用計画の記載事項とチェックのためのプロセス

4 (参考) 本県の状況

○通院外来患者の状況

人口10万人当たりの患者数(全国:99,470人、本県:100,810人)(28位)

○通院外来医療施設

人口10万人当たりの施設数(全国:69施設、本県:64施設)(30位)

○医療機器の保有状況等

①CT

- ・調整人口(※)あたり台数(全国:11.1台、本県:8.8台)(43位)
- ・1台当たりの稼働件数(全国:2,437件、本県:2,278件)(25位)※病院(全国:662件、本県:747件)(7位)※診療所

②MRI

- ・調整人口あたり台数(全国:5.5台、本県:5.4台)(29位)
- ・1台当たりの稼働件数(全国:1,890件、本県:1,409件)(41位)※病院(全国:1,945件、本県1,783件)(24位)※診療所

③PET

- ・調整人口あたり台数(全国:0.46台、本県:0.17台)(46位)
- ・1台当たりの稼働件数(全国:794件、本県:752件)(26位)※病院

④マンモグラフィ

- ・調整人口あたり台数(全国:3.4台、本県:4.3台)(12位)
- ・1台当たりの稼働件数(全国:482件、本県:448件)(23位)※病院(全国:625件、本県937件)(8位)※診療所

⑤放射線治療(体外照射)

- ・調整人口あたり台数(全国:0.91台、本県:0.82台)(32位)
- ・1台当たりの稼働件数(全国:20件、本県:18件)(21位)※病院

※人口10万人対医療機器台数をベースに地域毎の性・年齢階級による検査率の違いを調整

○外来医師偏在指標(暫定値)

順位	圏域名	外来医師偏在指標(経年人口を考慮)
00	全国	106.3
43	05 秋田県	83.5
316	0501 大館・鹿角	64.8
320	0502 北秋田	63.3
250	0503 能代・山本	80.9
143	0504 秋田周辺	99.7
273	0505 由利本荘・にかほ	77.4
278	0506 大仙・仙北	76.5
287	0507 横手	75.1
306	0508 湯沢・雄勝	69.9

○外来医師偏在指標における全国比較

本県の医師偏在指標は83.5であり、全国平均の106.3より低く、全国順位も43番目と下位に位置している。

○二次医療圏の順位

県内で最も指標が高い「秋田周辺」においても指標は99.7となっており、全国平均よりも低く、全二次医療圏の順位も143位となっている。